



2019年（平成31年）
2月25日（月曜日）
発行元
特定非営利活動法人
うらほろスタイルサポート

子ども達の熱い想い

中央小「太陽への手紙」発表会

12月7日金に、上浦幌中央小学校で、太陽への手紙の発表会が行われました。発表



緊張しながら発表していました

会には浦幌町長や副町長、教
育長のほかに、保護者の方も
いらしていました。

太陽への手紙の発表の前
に、修学旅行の学習の発表が
行われました。自主研修で訪
れた北海道大学の博物館や
円山動物園で見ってきた標本
や動物などについて、児童そ
れぞれの興味や関心に合わ
せた発表がなされました。小
学生とは思えないほど、理論
立てた発表もあり、驚かされ
ました。

太陽への手紙の発表では、
修学旅行で行ったPR活動
をもとに、浦幌町に足を運ん
でもらうための方法が提案

されました。提案は、浦幌中
学校で行っている活性化案
の内容で、子ども達の浦幌町に
対する想いを強く感じまし
た。具体的な内容も、森林を
使ったアスレチックや宿泊
施設に関するもので、浦幌中
学校の3年生が提案した内
容に類似しており、子ども達
の町への問題意識は同じと
ころに集中していることに
気づかされました。

今後子ども達に浦幌町
のことを考えていつてほし
いと思うと同時に、大人とし
て子ども達の意見を受けと
めていきたいと思わされま
した。

（浦幌町地域おこし協力隊
平川貴史）

上浦幌の通楽（学合宿）

11月18日（日）から21日（水）
まで上浦幌公民館で通楽
（学）合宿が行われました。
今回はボランティアとして
参加してくれた、教育大学の
佐藤光大さんに感想を聞き
ました。

今回の通楽（学）合宿を通
して、子ども達が「よく考え
て、自分から」行動を起こし
ていたように感じています。
特に6年生が中心となつて
「これはどうしたらいいのだ
ろう？」など子ども達自身が
具体的な目標を持ちながら
活動に取り組んでいたよう
に見えました。その姿を見
て、3～5年生も「自分達も
頑張ろう」という想いを持
ち、自分の仕事と周りの友達
のサポートを積極的にに行っ
ていたように見えました。子
ども達が精一杯活動に取り
組んでいる姿を見ることが
でき、自分の励みになりました。
個人的な話ではありません

が、浦幌町の皆様と関わらせ
ていただき3年になりました
た。大学の講義や浦幌小学校
における教育実習、今回の合
宿など幅広く関わらせてい
ただき、子ども達の姿や子ど
も達を支える大人の方の努
力、浦幌町の方の子ども達に
かける情熱を見て学びを深
めると同時に、自分も頑張ろ
うという励みになりました。
本当にありがとうございます。
これからもよろしくお
願ひします。

（北海道教育大学釧路校 地
域環境教育専攻 地域文化
研究室 佐藤光大）



楽しく学べました

受け入れ側にも好影響

浦中1、2年 職場体験・職業調べ

11月1日(木)に浦幌中学校の2年生が職場体験学習を行いました。1〜3名のグループに分かれて小学校やスーパーマーケットなど町内の事業所に訪れ、実際の業務に携わっていました。学習を終えた生徒からは、「普段利用している場所でも、職員として関わってみると全然知らない場所に見えた。自分たちが利用している裏で、これだけのことをしてくれていたことを知



実際の仕事を体験しました

り、ありがたさを感じた。また利用したいと思う」「正直あまり来たことがない場所だったけど、今回の体験を通して、どのようなものがあるのかわかったし、事業所の方と仲良くなれたので、これからはもっと利用したいと思う」という感想が聞けました。今までは違った角度から町を知ることができたのではないかと思います。

町内での活動にとどまらず、町外への営業を体験した生徒もいました。体験した生徒からは、「長距離の移動は疲れたけど、言葉では知っていた『営業』を実際に見ることができてよかったです。毎日こんなに移動しているのはすごいと思う」と話していました。「北海道で働くということはこういうことなのかを考えるきっかけ

緊張するけど楽しかったそうです



けになったら嬉しい」と語っていた事業所の方の想いは届いていたのではないでしょうが。

また、今回新たに職場体験学習を引き受けていただいた事業所の方からは、「初めて受け入れたが、もっと前から引き受けていればよかった」「こんなに中学生がしっかりしていると思っていなかった。もっと関わる機会がほしい」という感想をいただきました。子ども達だけが学ぶのではなく、関わった大人にもいい影響があるのとても素敵な学習の在り方だと思えます。

また、11月20日(火)には1年生が職場体験学習の前期にあたる、職業調べ学習を行いました。町内の事業所を訪れ、自分達が普段学んでいることが実際の仕事に活かせるのかなど、今の自分達と仕事とのつながりを意識した質問をしていました。そのような質問に対し、自分の体験や同僚・同業者の想いをもとにした回答をしてもらい、とても興味深く話を聞いている様子が見られました。



普段見えない部分の仕事も体験しました

すぐに自分が就きたい仕事に就いたり、自分の家の外に出て目標とは違う仕事

職業調べ学習の様子



事についてから帰ってきて本命の仕事に就くのも選択肢にいれてほしいなど、町内で長年働いているからこそ、その想いも聞くことができ、刺激的な時間になったのではないでしょうが。

2つの学習を通して、町の見え方が変わってきたと思うので、2年生は来年度の活性化案の作成に向けて、1年生は職業体験に向けて学びを深めていってほしいと思います。

(浦幌町地域おこし協力隊 平川貴史)